# いよいよ来春、富山で全国植樹祭開催!

## 第68回全国植樹祭プレ大会(第17回とやま森の祭典)を開催

五月晴の5月22日、「たくさんの緑かがやき澄んだ水」をテーマに「第68回全国植樹祭プレ大会」として「第17回とやま森の祭典」を、開催しました。



(全国植樹祭へ向け GO! きときと君と石井知事、花とみどりの少年団)

会場は、来年春の全国植樹祭のメイン会場で、眼下に蜃気楼やホタルイカで知られる神秘の海富山湾を望み、背後に北アルプスに連なる山々を仰ぎ見る、魚津市の「魚津桃山運動公園」。約3千人が参加しました。



(会場で、緑の募金を行う花とみどりの少年団表彰者等)

式典では、まず、石井隆一富山県知事が、来年春に開催する全国植樹祭を、県民参加による森づくりの一層の推進と、緑あふれる自然と生き生きと人が輝くふるさとを未来に繋げる大会にしたいと述べました。



(石井知事)

続いて高木繁雄とやま緑化推進機構理事長の、社会全体で森づくりを支えていきたいとの式辞、



(髙木とやま緑化 推進機構理事長)

村椿魚津市長の歓迎の挨拶の後、緑化に貢献した方々に対し、産業経済 功労者表彰、緑化功労者表彰、全国植樹祭ポスター原画表彰、優良花とみ どりの少年団表彰などが行われ、宮腰光寛衆議院議員、大野久芳県議会議 長から祝辞をいただきました。



(受賞者等)

#### 全国植樹祭の成功と未来に向けたメッセージ

次に、地元で森と海をつなぐサケの保全活動や美化活動に取り組む魚津市村木小学校の生徒、当日元気とやま農林水産奨励賞を受けた若い林業担い手の牧野雄介さん、水と緑の森づくり表彰を受けた地元魚津市の小菅沼・ヤギの森代表の金森貴保さんらが、全国植樹祭に向け、「未来に向けたメッセージ」を発表しました。



(村木小学校の発表)

最後に、とやま水と緑の大使3名、全国植樹祭のマスコット「きときと君」らによるPRキャラバンの後、参加者全員で、富山県の歌「ふるさとの空」の大合唱で式典の幕を閉じました。



(とやま水と緑の大使による全国植樹祭 PR キャラバン)

### 無花粉スギの植樹活動や多彩なアトラクション

式典後の記念植樹では、富山県が20年の歳月をかけ精鋭樹を基に全国に先駆けて開発し、来年の本大会で、天皇陛下がお手植えされる予定の優良無花粉スギ「立山 森の輝き」とコナラの苗木それぞれ 800 本を植栽した他、本大会で広葉樹の植栽地となる林の除伐を行いました。



(石井富山県知事)



(髙木とやま緑化推進機構理事長)



優良無花粉スギ「立山 森の輝き」を植栽

さらに、花と緑の少年団による、来年の本大会会場を彩る県産材のプランターカバーの製作、



(県産材プランターカバー作り)

大会へ向けたのぼり旗の寄せ書きがおこなわれました。



(のぼり旗の寄せ書き)

地元新川森林組合、JA、漁連による、野菜、紅ズワイガニなどをふんだんに使った ふるまい鍋の提供、富山県内各地の「ゆるきゃら」や魚津蜃気楼太鼓のアトラクション、うまいものコーナー、苗木の配布など、多彩な催し物が行われ、大いに賑わい、本大会に向けた期待の高まる大会でした。



(苗木の配布)

### 富山へこられ!

来春の全国植樹祭は、本県では昭和 44 年に砺波市頼成(らんじょう) の森で開催されてから実に 48 年ぶり。約 6 千人の参加者をお迎えしての 開催。開催日は、8 月に正式決定される予定です、



富山へ来てね!

全国の皆さん!世界中で、富山でだけ漁獲される白い宝石「シロエビ」 やホタルイカ等の海の幸や山、里の幸がお待ちしています。

平成 26 年 10 月に、世界で最も美しい湾クラブに加盟した富山湾の美しい風景をはじめ、18 メートルの雪の壁「立山雪の大谷」など、富山県の雄大な自然を体験し、また、世界遺産五箇山の合掌集落など、環境とそこに住む人々の営みが織り成す文化にも浸ってください。

さらに、日本海の環境保全を図る国連機関 NOWPAP の本部事務局 (RCU) 設置、日本海の環境モニタリングなど環境問題に先進的に取り組む本県の姿を、ぜひご覧いただきたい。

お待ちしています。



富山へ来られ!